

目指す学校像	確かな学力と人間力を兼ね備え、渋沢栄一翁の教えに学び、地域へ貢献するとともに世界で活躍できる人財を育てる学校。
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 自ら学ぶ姿勢を持ち、確かな学力とビジネスの実践力を持った生徒を育成する。 マナーと規律を守り、思いやりの心を持った生徒を育成する。 進路に対する高い志を持ち、その実現のために主体的に活動する生徒を育成する。 地域・保護者と連携をし、地域・保護者に信頼される学校を作る。
------	---

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する)は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

学校自己評価							
年度目標				令和年度評価(月日現在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	現状 生徒の多くが授業に積極的に取り組んでおり授業内容を概ね理解している。保護者においては、資格取得を中心とした学力向上の本校への期待は高い。 課題 ・新型コロナに対応した学習保障(授業展開)対策の検討。 ・ICTを活用した授業の工夫。 ・令和4年度からの新教育課程への対応。	<ol style="list-style-type: none"> わかる授業の実現 検定合格者数の増加 新型コロナに対応した学習保障 	<ol style="list-style-type: none"> 「学ぶ力」を定着させる授業を展開し、ICTを活用した授業の工夫をして、「授業力」の向上を図る。 資格取得の奨励などにより学習の動機付けを行い、より高度な資格取得を目指す。 リモート授業や動画配信の実施 	<ol style="list-style-type: none"> 生徒の授業の理解度や授業への取り組み(生徒アンケート)とICT授業の展開率 各種検定の取得状況(普通教科も含む) リモート授業や動画配信の取組状況 			
2	現状 自転車のマナーが悪く、地域から多くの苦情が寄せられた。登校時の自転車事故も多い状況である。今年から原付自転車による通学が認められる。スマートフォンの利用時間が、4時間以上が3割以上である。 課題 ・原付自転車による通学の環境整備。 ・スマートフォン等の活用及び環境整備の検討。	<ol style="list-style-type: none"> 主体的にモラル・マナーを守る態度を育成 原付自転車による通学できる環境の整備 ITC機器環境の整備 	<ol style="list-style-type: none"> 自転車等の交通マナーを講演会等や教育活動の全ての場面を通して指導をする。 該当する分掌を中心に、通学できる環境を整える。 該当する分掌と連携してICT機器の環境を整備する。 	<ol style="list-style-type: none"> 交通マナー等の状況把握(生徒アンケート)と地域住民からの苦情の数 原付自転車により通学できる環境の整備状況 ICT機器の環境整備状況 			
3	現状 進路情報が保護者へ適切に周知されており、生徒の進路希望の満足度も高く、進路決定率もほぼ100%である。 課題 ・キャリアパスポートの作成のための環境整備。 ・校務支援システムへの完全移行の実施。	<ol style="list-style-type: none"> ガイダンスを通してキャリア教育の充実 手帳の活用方法 校務支援システムへの移行 	<ol style="list-style-type: none"> ガイダンス等において外部講師を招いたキャリア教育を実践する。 3年生の活用事例を1・2年生に周知し、手帳の活用を促す。 校務支援システムへの移行への周知徹底 	<ol style="list-style-type: none"> キャリア教育に関連する講演会の実施状況 生徒アンケートにおける生徒進路手帳の活用状況 校務支援システムへの移行状況 			
4	現状 地域や企業との良好な連携はできている。ホームページや広報誌を通し、中学生やその保護者は本校への関心が高い。また、入試に関しては、本年度の入学志願者が定員割れを起こしてしまった。 課題 ・来年度に入試に向けた、募集定員の確保。 ・「渋沢栄一翁」の功績を、地域と協力しながら、授業に活かした取組。 ・100周年記念式典の実施に向けた準備。	<ol style="list-style-type: none"> PTA活動の充実と効果的な情報発信 授業を通して地域との連携を図る。 100周年実施委員会を中心に事業に向けて準備する。 	<ol style="list-style-type: none"> 学校行事の保護者・地域への公開とHPの充実を図り、中学生やその保護者への積極的な情報発信に努める。 地域の企業と連携してイベントへの参加や効果的な授業の展開を行う。 委員会を中心にPTA・同窓会と連携しながら、100周年記念式典の企画・運営 	<ol style="list-style-type: none"> 情報発信状況び入試倍率 地域の企業との連携について生徒・職員が関わり授業展開の割合が増えたか。 100周年記念事業に向けた達成状況 			

学校関係者評価	
実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	